

Victory

NO.4

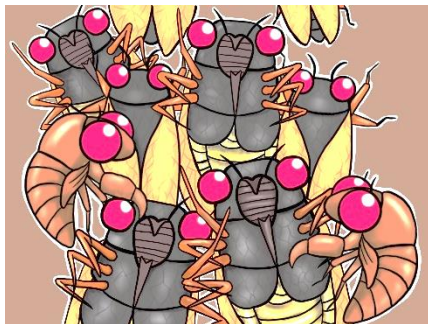
令和6年7月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

文月。梅雨が明けました。

蝉の声と空の青さ、そして白い巻雲や積雲が夏到来を予感させる今日この頃です。

蝉と言えば、「素数ゼミ」（アメリカにだけ生息するセミの仲間で、一定の周期で羽化する）が今年北米で大発生したと報道されたのは先月末のことでした。その数、1兆匹ともいわれ、次に出現するのは、 13 （周期） \times 17 （周期） $=221$ 年後。



周期が長いため、研究解明にかなり時間がかかっているということで、今回の大発生を研究者たちは逃すことなく、研究に勤しんでいるのではないのでしょうか。

関連情報を検索していたら、今年2月の朝日 GLOBE+にニューヨークタイムズ世界の話題として「素数ゼミ」2024年アメリカで1兆匹の大量発生へ 221年に一度の数学と自然の神秘」と題した記事が掲載されていて、ワクワク感が伝わってきます。また、少し古いですが、2013年5月「Nature Japan ダイジェスト版」には17年ゼミの羽化発生に伴った「素数ゼミからの難問」と題した論文記事も興味深い内容でした。

実は、昨年度の Victory で、『素数ゼミの謎』（吉村仁著 文藝春秋）を紹介しました。本と一緒に、興味のある人は、下の QR コードからそれぞれの記事を読んでみて下さい。なお、Nature は記事の原文も読めるので、アクセスしてチャレンジを！

この夏は、日常に潜む（あなたの中に眠っている）「なぜ？どうして？」を見つける熱い夏にしてみませんか？そして「なんでだろう？」を解明する鍵も、きっと図書館で見つかるはずです。



↑朝日 GLOBE+



↑Nature Japan

『素数ゼミの謎』
吉村仁著
（文藝春秋）
2005年



図書館、図書委員会からのお知らせ

夏休みがやって来ます。

今年も例年以上の猛暑が予想されます。涼しい部屋で、本の世界にダイビング！！ 新しい本、てんこ盛りの図書館へ。

長期貸出始まりました。

貸出期間：7月16日（火）～26日（金）

貸出冊数：無制限

返却日：8月26日（月）

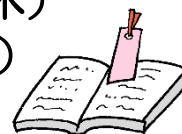


図書館開館日

7月29日（月）、8月1日（木）

8月19日（月）、20日（火）

開館時間：8:20～15:00



図書委員会主催映画上映会

日時：8月1日（木）午後2時上映開始

場所：図書閲覧室

映画：「かがみの孤城」（原作 辻村深月）

申込は、図書館カウンターまで





高 1,2 年読書活動：ビブリオバトル



7月9日(火)7限目のLHRに、各クラスの図書委員による進行で、ビブリオバトルを実施しました。1-3,7,9は国語の授業で実施しています。

6~8グループに分かれて、グループのチャンプ本を選出→グループ代表の本でビブリオバトル→クラスのチャンプ本を決定。公式ルールの短縮版(一人3分・ディスカッションタイム1分)で実施しました。事前準備から当日の進行まで図書委員のみなさんの活躍でよい時間となりました。各クラスのチャンプ本を以下に紹介します。



どのクラスも本を通して友を知る、友を通して本を知る充実した時間でした。

～各クラスのチャンプ本一覧～

学年クラス	書名	著者名	出版社名
1-1	悪鬼のウィルス	二宮敦人	T0 文庫
1-2	スイッチを押すとき	山田悠介	角川書店
	教場	長岡弘樹	小学館
1-4	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房
1-5	すごい左利き	加藤俊徳	ダイヤモンド社
1-6	殺人の門	東野圭吾	角川書店
1-8	さよなら、ニルヴァーナ	窪 美澄	文藝春秋
2-1	世界征服マニュアル	亜留間次郎	三オブックス
2-2	容疑者Xの献身	東野圭吾	文藝春秋
2-3	ニホンブンレッツ	山田悠介	河出書房新社
2-4	最後のオオカミ	マイケル・モーパゴ	文献出版
2-5	ひと	小野寺史宣	祥伝社
2-6	また同じ夢を見ていた	住野よる	双葉社
2-7	総理にされた男	中山七里	宝島社
2-8	余命99日の僕が、死の見える君と出会った	森田 碧	ポプラ社
2-9	方舟	夕木春央	講談社

上記の本は、ほぼ本校図書館蔵書にあります。この夏の読書のお供にぜひ!



扉を開こう、世界が君を待っている

～その気持ちを言語化してみよう～

- 第70回青少年読書感想文全国コンクールに挑戦したいあなた。課題図書部門の本、揃っています。↓
- 第44回全校高校生読書体験記コンクールはこちら。↓



読書感想文関連サイト →



読書体験記関連サイト →

